

安全データシート

¹⁰B 96%濃縮ホウ酸

SDS No. 060006

作成：2010年5月18日

改訂：2019年7月16日

1. 製品及び会社情報

会社：ステラケミファ株式会社
住所：〒541-0044 大阪市中央区伏見町4丁目1番1号
電話番号：06-4707-1511
FAX番号：06-4707-1521
メールアドレス：kanri@stella-chemifa.co.jp
担当部門：営業部
電話番号：(大阪) 06-4707-1515、(東京) 03-5219-8111
FAX番号：(大阪) 06-4707-1518、(東京) 03-5219-8112
メールアドレス：(大阪) osaka@stella-chemifa.co.jp、(東京) tokyo@stella-chemifa.co.jp
緊急連絡先：泉工場 (0725-21-6801)

製品の名称(和名)：¹⁰B 96%濃縮ホウ酸製品の名称(英名)：¹⁰B Enriched 96% Boric Acid

推奨用途及び使用上の制限：原子力関係、がん治療用

2. 危険有害性の要約^{2) 4) 6) 7)}

GHS分類；

| | |
|--------------------|-----------|
| 健康に対する有害性：急性毒性(経口) | : 区分5 |
| 皮膚腐食/刺激性 | : 区分2 |
| 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 | : 区分2A-2B |
| 生殖毒性 | : 区分1B |
| 特定標的臓器/全身毒性(単回暴露) | : 区分1と3 |
| 特定標的臓器/全身毒性(反復暴露) | : 区分1 |

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ラベル要素；

絵表示又はシンボル：感嘆符、健康有害性



注意喚起語：危険

危険有害性情報：

急性毒性（経口）：飲み込むと有害のおそれ

皮膚腐食性／刺激性：皮膚刺激

眼に対する重篤な損傷／刺激性：強い眼刺激

生殖毒性：生殖能または胎児への悪影響のおそれ

特定標的臓器／全身毒性－単回暴露：臓器（神経系、消化管）の障害

（気道刺激性）呼吸器への刺激のおそれ

特定標的臓器／全身毒性－反復暴露：長期または反復暴露による臓器（腎臓）の障害

注意書き：

[予防策] 屋外または換気のよい場所でのみ使用すること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避け、吸入しないこと。

保護手袋および保護眼鏡/保護面を着用すること。

必要に応じて個人用保護具を使用すること。

取り扱い後はよく洗うこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

使用前に取扱説明書入手すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

[対応] 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/

取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで15分以上洗うこと。

皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。

汚染された衣類を再使用する場合には、中和処理後、洗濯をすること。

眼に入った場合：流水で15分以上注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを

着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせない。

大量の水を飲ませる。その後ミルクを与えてもよい。

暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。

気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。

※いずれの場合も速やかに医師の診断を受ける。

[保管] 一定の場所を定めて貯蔵すること。

容器を密閉して換気のよい場所で保管すること。

施錠して保管すること。

[廃棄] 廃液、汚泥等は関係法令にもとづき、自社で適正に処理するか、または

廃棄物処理業者に委託して処理すること。

化学物質・混合物の区別：単一化学物質

化学名または一般名：ホウ酸

別名：－

化学特性：含有量 H3B03：99.5%以上

化学式又は構造式 H3B03

分子量 H3B03=61.06 (¹⁰B 96%濃縮ホウ酸として)

化審法番号：1-63

安衛法番号：化審法既存1-63

CAS番号：10043-35-3

危険有害成分：ホウ酸

GHS分類に寄与する不純物：なし

及び安定化添加物

4. 応急措置^{4) 6)}

吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移す。鼻をかむ。うがいをする。

場合により酸素吸入。

皮膚に付着した場合：汚染された衣服等を脱がせ、水又は石鹼水で洗い流す。

目に入った場合：直ちに流水で15分以上洗い流す。

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせない。

大量の水を飲ませる。その後ミルクを与えてもよい。

※ いずれの場合もすみやかに医師の診断を受ける。

5. 火災時の処置⁴⁾

消火剤：適用なし（本品不燃性）

消火方法：本品不燃性

危険有害性：火災時は火から遠ざける。間に合わぬ場合容器に水をかけ冷却する。

消火を行う者の保護：消火活動時保護具及び空気呼吸器着用。

6. 漏出時の処置^{4) 6)}

人体に対する注意事項：関係者以外立ち入り禁止。作業者は保護具着用。

・保護具及び緊急時措置 風下で作業しない。

環境に対する注意事項：要排水処理

封じ込め及び浄化の方法・機材：空容器に出来るだけ回収する。その後、大量の水で洗い流す。

風下の人を避難させる。関係者以外立入禁止。

二次災害の防止策：貯蔵・取扱の場所の床面は、地下浸透防止が出来る材質とする。

また、床面等ひび割れないように管理する。

取扱い；

技術的対策：保護眼鏡、保護手袋、
保護マスクを着用する。

局所排気・全体換気：8. 暴露防止および保護措置を参照

注意事項：作業終了時身体を洗う
汚染した衣類等は洗濯しておく
作業場には安全シャワー、洗眼器等を設置し表示しておく。

保管；

技術的対策：床面等は、万一、漏洩があっても公共水域への流出及び地下への浸透が
起こらないようにする。
高温、吸湿、直射日光は避ける。開封後は密閉容器に入れ保管する。

混触禁止物質：カリウム、無水酢酸

適切な保管条件：容器は密封する。

推奨容器包装材料：ポリエチレン容器

8. 暴露防止及び保護措置^{4) 5) 6)}

管理濃度：データなし

許容濃度：日本産衛学会（2017年版） 第3種粉じん、吸引性粉じん：2mg/m³
総粉じん：8mg/m³

ACGIH（2017年版） TWA 2mg/m³ STEL 6mg/m³

設備対策：局所排気、全体換気、粉じんは洗浄塔で集塵する。
取扱場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、
その位置を明示する。

保護具：

[呼吸器の保護具] 防塵マスク

[手の保護具] 保護手袋

[眼の保護具] 保護メガネ

衛生対策：保護具は保護具点検表により定期的に点検する。
作業中は飲食・喫煙はしない。
飲食、喫煙前には石鹸で手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質^{1) 6)}

物理的性状及び色：白色の結晶性粉末

臭い：無臭

密度：1.44

融点（℃）：184

沸点（℃）：データなし

pH及びその濃度：データなし

水に対する溶解性：3.992 g/100 g 水@20℃

引火点：なし

発火点：なし

爆発範囲：なし

10. 安定性及び反応性^{1) 6)}

安定性：熱に対しては不安定である。

反応性：カリウム、無水酢酸と混合すると燃焼、爆発の可能性がある。

危険有害な分解生成物：なし

急性毒性： H3B03 経口ラット LD50 2660mg/kg

局所効果： 皮膚・目に刺激を感じる時がある。

慢性毒性： 特になし

がん原性： OSHA、NTP発がん性物質リストに記載なし。

IARC発がん性物質リスト該当せず

1 2. 環境影響情報⁷⁾

環境中での生態毒性： 魚類（ニジマス）の96時間LC50=78.1mg/L(ホウ酸濃度換算値47mg/L)
(EHC204、1998)

1 3. 廃棄上の注意^{4) 6)}

廃棄方法： 少量であれば、通常的一般廃棄物としての投棄が可能である。廃棄のための特別な処置は必要としないが、各地の特定の処分方法については地方の法規制に従うこと。関係法令を遵守し、適正に処分すること。

廃棄規制： 排水は、水素イオン濃度、ホウ素含有量等が規制値に適合していること。

(PHの規制値：5.8～8.6)

(ホウ素の規制値：海域以外の公共用水域では10mg/L、海域では230mg/L)

その他条例等で上乗せされた規制がある場合はその値による

1 4. 輸送上の注意⁴⁾

国際規制；

海上規制情報： 該当なし

[UN No.] 該当なし

[Proper Shipping Name] —

[Class] —

[Sub Risk] —

[Packing Group] —

[Marine Pollutant] Not Applicable

航空規制情報： 該当なし

[UN No.] 該当なし

[Proper Shipping Name] —

[Class] —

[Sub Risk] —

[Packing Group] —

陸上規制情報：該当なし

海上規制情報：該当なし

[国連番号] 該当なし

[品名] ー

[クラス] ー

[副次危険] ー

[容器等級] ー

[海洋汚染物質] 非該当

航空規制情報：該当なし

[国連番号] 該当なし

[品名] ー

[クラス] ー

[副次危険] ー

[等級] ー

特別の安全対策：輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

主な適用法規：水質汚濁防止法（人の健康に係わる物質：ホウ素）

輸出貿易管理令

化学物質管理促進法（第1種405番）

16. その他の情報

記載内容の問い合わせ：ステラケミファ株式会社 品質保証部

〒590-0982 大阪府堺市堺区海山町7丁227番地 Tel. No. 072-229-3106

引用文献：1) KIRK-OTHMER "ENCYCLOPEDIA OF CHEMICAL TECHNOLOGY" Fourth Edition

2) 堀口博「公害と毒・危険物」無機編 三共出版株式会社

3) RTECS (NIOSH) -2000

4) 「毒物劇物取扱の手引」厚生省薬務局安全課監修 時事通信社

5) 「米国OSHA危険有害性の周知基準(第4版)」(社)日本化学物質安全情報センター

6) "ChemicalDataSheetSD-25HydrofluoricAcid"

ManufacturingChemistsAssociation

7) NITEによる無水ホウ酸のGHS区分結果より(2006.8.22)

-
- 危険、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱には十分注意して下さい。また、記載されている含有量、物理化学的性質等に関する値は保証値ではありません。